

清水区に道の駅構想

ちゅるスタ周辺 駐車場整備に連動

静岡市の難波喬司市長は22日、同市清水区庵原の野球場「ちゅるスタジアム清水」周辺に「道の駅」を



整備する構想を明らかにした。市が同スタジアムに屋内運動場を新設するのに合わせて近隣に整備予定の新たな駐車場に、道の駅の機能を兼ね備える方向で検討する。同日、庵原地区連合自治会が開催した「市長を囲む会」で参加者の質問に答えた。

市は庵原地区で「ユニバーサルスポーツ聖地化事業」を進めていて、同スタジアム駐車場にパラスポ

ーツで優先利用できる屋内運動場を新設予定。市議会6月定例会で設計費5900万円を計上した一般会計補正予算案が可決済みで、2027年4月の完成を見込む。これに伴い新たな駐車場の敷地として主にスタジアム北側の地権者と交渉を進めていて、理解を得られれば国の補助金なども活用しながら段階的に道の駅として整備し、民間の商業施設などを誘致するという。

同スタジアムは、新東名高速道路と中部横断自動車道が交わる新清水ジャンクション（JCT）と、清水いはらインターチェンジ（IC）のすぐ近く。首都圏や山梨、長野方面からアクセスが良く、今後はスポーツ関連の来県も期待される。

難波市長は、地元自治会などが中心になって道の駅の整備機運を高めるイベントを続けてきたことも踏まえ「（この地域が）多くの人が集まる構造になっている。清水、静岡の観光の最初の道の駅があつていいはず。恒久的な施設にしていきたい」と述べた。

（清水支局・山本一真）